3. 수업편

(수업전의 교실. 학생 착석해 와글와글 떠들고 있다. )

다나카: 오늘 지난번 테스트를 돌려준다고 선생님이 말했었지?

와타나베: 응.

다나카: 아~, 두근두근 거려.

와타나베: 괜찮아.

다나카: 아니, 실은 테스트 전날부터 몸이 별로 좋지 않았거든.

와타나베: 응.

다나카: 테스트때는 머리가 지끈지끈 거렸어.

와타나베: 응, 그랬구나. 힘들었겠다. 지금은 어때?

다나카: 지금은 괜찮아.

와타나베: 그래, 다행이네.

(선생님이 교실에 들어간다. )

선생님: 안녕하세요.

학생들: 안녕하세요.

선생님: 오늘은 시험문제를 돌려주겠어요. 아, 그 전에 어제 숙제를 제출해 주세요.

다나카: 아, 큰일났다. 완전히 잊고 있었네.

와타나베: 정말? 왜? 어제 뭐했는데?

다나카: 친구하고 가라오케에 갔다가 집에 간 게 막차여서 아슬아슬 했었어. 집에 가자마자 그대로 푹 잤어.

와타나베: 아~아. (소리만)

다나카: 죄송해요. 선생님. 숙제를 안 가지고 왔는데, 내일 가지고 와도 돼요?

선생님: 으흠, 이제는 대학생이니까 자기관리 좀 확실히 하세요. 오늘은 어쩔수 없지만, 다음은 안 됩니다.

다나카: 네. 죄송해요.

선생님: 자 그럼, 시험문제를 돌려주겠어요. (농담어조) 여러분, 두근두근거리죠?

학생들: 네~?

선생님: 여러분 성적을 대충 훑어보았지만, 나쁘지 않았어요.

다나카: 좋아, 70점 넘었다. 아하 한 숨 돌렸다.

선생님: 성적이 좋은 사람은 만족하지 말고, 별로 좋지 않은 사람이라도 실망하지 않도록.

선생님: 그럼, 오늘은 여기까지 합시다.

학생들: 감사합니다.

(교탁에서 돌아가는 준비를 하고 있는 선생님과 다나카. )

다나카: 선생님.

선생님: 네.

다나카: 저기, 저 영어 실력을 더 향상시키고 싶은데, 어떻게 하면 좋을까요?

선생님: 그렇군요. 그럼 우선 숙제를 확실히 하고(짓궂은 표정),

다나카: 죄송해요.

선생님: 그리고 나서 예습과 복습을 하고, 친구끼리나 외국인 친구와 영어로 자꾸자꾸 이야기하면 잘 할 수 있다고 생각해요.

다나카: 그러면, 술술 말할 수 있게 되나요?

선생님: 음, 여러가지 시험해 보는 게 좋겠죠?. 열심히 하세요.

다나카: 네.

(교실. 쉬는 시간. )

야마다: 아, 구두 반짝반짝 거리네. 새 거야?

다나카: 응. 지난번에 신주쿠에서 샀어.

야마다: 귀엽다.

다나카: 마지막 한 켤레였는데, 색이 너무 마음에 들었어. 게다가 사이즈도 딱맞고.

야마다: 좋다. (소리만)

다나카: 게다가 운 좋게 개점 세일이어서 반값이었어.

야마다: 와? 정말? 나도 사고 싶다.

개점 세일이라면 , 전에 텔레비전에서 소개됐던 새로 생긴 백화점말야?

다나카: 응, 그래.

야마다: 어땠어?

다나카: 사람이 굉장히 많았어. 가게 문이 열리자마자 사람들이 우르르 들어와서.

야마다: 그렇게 많이?

다나카: 응, 계산 할때도 계산대 에 사람이 죽 줄서있어서, 나 1시간 정도 기다렸어.

야마다: 와, 힘들었겠다.

(교실. 쉬는 시간. )

와타나베: 저기 있잔아.

스즈키: 야, 놀랬잖아.

와타나베: 왜 그래? 멍해가지구.

스즈키: 아무것도 아니야.

와타나베: 정말?? 혹시, 어제 데이트?

스즈키: 아니야.

와타나베: 아니긴, 얼굴이 빨개졌는데 (웃음)

스즈키: 시끄러. 그렇게 껄껄 웃다니. 아니라고 했잖아.

와타나베: 응. 알았어. 알았어.

3. 授業 編

(授業前の教室、学生が着席してがやがやしている。)

田中：今日はこの間のテストを返すって先生言ってたよね。

渡辺：うん。

田中：あ～、どきどきするなぁー。

渡辺：大丈夫だよ。

田中：いや、実は、テストの前の日から、調子があんまりよくなくて、

渡辺：うん。

田中：テストの時は頭ががんがんしてたんだ。

渡辺：え、そうなんだ。大変だったね。今はどう？

田中：もう大丈夫。

渡辺：そう、よかった

（先生が教室に入ってくる）

先生：おはようございます。

学生たち：おはようございます。

先生：今日はテストを返します。あっ、その前にですね、昨日の宿題を出してください。

田中：あっ、しまった。すっかり忘れてた。

渡辺：えー？なんで？昨日何してたの？

田中：友達とカラオケに行って、帰ったのが終電ぎりぎりだったんだ。家に着いたらそのままぐっすり。

渡辺：あ～あ。（声のみ）

田中：すみません、先生、宿題は持ってきてないんですが、明日でも大丈夫ですか？

先生：うーん、もう大学生だから、ちゃんと自己管理をしてください。今日はしようがないからいいけど、今度はだめだよ。

田中：はい。すみません。

先生：じゃ、テストを返します。（冗談ぽく）皆さんわくわくしているでしょう？

学生たち：えー？

先生：皆さんの成績をざっと見たけど、悪くなかったよ。

田中：よし、70点を超えた。あー、ほっとした。

先生：成績のいい人は満足しないで、あんまりよくない人もがっかりしないように。

先生：じゃ、今日は終わりましょう。

学生たち：ありがとうございました。

（教卓で帰り仕度中の先生。）

田中：先生。

先生：はい。

田中：あのう、私、もっと英語能力を伸ばしたいんですけど、どうしたらいいでしょうか？

先生：そうだなー。まず、きちんと宿題をして（皮肉っぽい表情）、

田中：すみません。

先生：それから、予習と復習をして、友達同士とか外国人の友達と英語でどんどん話せば上手になると思うよ。

田中：そうすれば、ぺらぺらになりますか。

先生：まあ、いろいろ試してみることだね。頑張って！

田中：はい。

（教室、休み時間。）

山田：あ、靴、ぴかぴかだ。新しいの？

田中：うん。この間、新宿で買ったの。

山田：かわいいね。

田中：ラストの一足で、すごく色が気に入ったんだ。しかもサイズもぴったり。

山田：いいね。（声だけ）

田中：しかもちょうど開店セールで、半額だったんだよ。

山田：えー？本当？あたしも買いたいなあ。開店セールって、この間テレビで紹介されてた新しくできたデパートのこと？

田中：そう。

山田：どうだった？

田中：すごい人だったよ。お店のドアが開くなり、人がどっと入って。

山田：そんなに？

田中：うん、会計の時も。レジの前も人がずらりと並んで、私1時間くらい待たされたよ。

山田：うわぁ、大変だったね。

(教室)

渡辺：ねえねえ。

鈴木：ああ、びっくりした。

渡辺：どうしたの？ぼんやりして。

鈴木：何でもない。

渡辺：本当？？もしかして、昨日のデートのこと？

鈴木：違うよ。（顔が赤くなって、恥ずかしそうな表情になる。）

渡辺：ほら、顔が赤くなった。（笑い）

鈴木：うるさいなあ。そんなゲラゲラ笑って。違うって言ってるでしょ。

渡辺：はいはい。分かった、分かった。